

■プログラム

開会挨拶 NEDIA副会長/株式会社インターテック 代表取締役社長 佐藤 和樹氏

講演 I 【基調講演】

13:05 ~ 14:05 ◆ 「スロージョギング健康法」
福岡大学 スポーツ科学部 教授/身体活動研究所 所長 田中 宏暁氏

14:05 ~ 14:15 < 休憩 >

講演 II 【からだエレクトロニクス】

① 14:15 ~ 15:15 ◆ 「高血圧を測って知って健康になろう」
オムロンヘルスケア株式会社 学術技術部 技術専門職 志賀 利一氏

② 15:15 ~ 16:15 ◆ 「血圧に関わる疾患の研究最前線」と「診断・治療に有用な連続測定技術の開発」
産業医科大学 医学部 不整脈先端治療学 教授 安部 治彦氏
株式会社パラマ・テック 代表取締役 深水 哲二氏

③ 16:15 ~ 17:15 ◆ 「動きながら測定できる小さな血流量センサ」
九州大学大学院 工学研究院 機械工学部門 教授
九州大学バイオメカニクス研究センター センター長 澤田 廉士氏

閉会挨拶 コラボレーションシンポジウム事務局

<展示コーナー併設> 会議場イベントホール 交流会(無料)17:30~18:30

■お申込み

FAIS 半導体・エレクトロニクス技術センターの HP

[新着情報]にてご案内しております。

<http://www.ksrp.or.jp/fais/sec/>

リンク先の申込フォームよりお申込みください。



会場：北九州学術研究都市 会議場 (北九州市若松区ひびきの2-3)



ACCESS 【公共交通機関の場合】
● JR折尾駅西口バス停 → 市営バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約15分
● JR黒崎駅バス停 → 市営バス・西鉄バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約30分
● 北九州空港バス停 → エアポートバス → 学研都市ひびきの ※所要時間約70分
【車をご利用の場合】
● 北九州都市高速道路 黒崎出入口 ※北九州都市高速道路 黒崎出入口からの所要時間約20分
● 小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 学研都市ひびきの ※所要時間小倉都心から約30分

<お問合せ先> 公益財団法人北九州産業学術推進機構 半導体・エレクトロニクス技術センター
TEL 093-695-3007 <http://www.ksrp.or.jp/fais/sec/mailto.html>

ここまで来た!!最新電子デバイスアプリケーション

からだエレクトロニクス

2015.10.23 **Fri.** 13:00~17:15
会場：北九州学術研究都市 会議場

参加無料(要申込)



<主催> 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS)
一般社団法人 日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)
<協賛> FAIS 北九州医歯工連携研究会 / 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム
ひびきのLEDアプリケーション創出協議会 / ひびきの半導体アカデミー
<後援> 経済産業省九州経済産業局 / 厚生労働省九州厚生局 / 北九州市
九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会 (SIIQ) / 一般財団法人 ファジィシステム研究所
<事務局> 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 半導体・エレクトロニクス技術センター

このところ、生体センシングの可能なウェアラブル端末の製品化が相次ぎ、それらを活用してより健康的に過ごそうという意識が高まってきました。今までは考えられなかったことが、画期的なセンサーの出現や、生体に関するアプリケーションの研究によって可能となりました。先進的な電子デバイスを駆使して可能になりつつある、新しい健康管理の世界をご紹介します。

ここまで来た！！最新電子デバイスアプリケーション からだエレクトロニクス



基調講演

「スロージョギング健康法」

福岡大学 スポーツ科学部 教授／身体活動研究所 所長
田中 宏暁氏

講演内容：身体は走る様にデザインされていますので、体力に応じて走るスピードを調節すれば、実に楽に、楽しく走れます。スロージョギング(SJ)と称しますが、多くの方にSJで病を克服し、若々しい体力を取り戻してもらっています。

講師紹介：専門は運動生理学。生活習慣病の治療と予防、健康増進・競技力向上に有効な運動処方に関する研究が主なテーマ。各地方自治体や医療機関など国内外の他施設との共同研究に加え、啓蒙活動も積極的に行っている。



「ためしてガッテン」でおなじみ
スロージョギング®の考案者

からだエレクトロニクス

1 「高血圧を測って知って健康になろう」

オムロンヘルスケア株式会社 学術技術部 技術専門職
志賀 利一氏

講演内容：脳卒中、心筋梗塞また認知症のリスクを高めると言われる高血圧。まずは血圧を測って知ることが健康への第一歩。さらにその原因となる塩分や睡眠などを測ることも大事です。本講ではその最新技術を紹介しします。

講師紹介：北海道大学大学院工学研究科生体工学専攻博士課程修了。専門分野は、生体工学、医用電子工学、近赤外分光学、生体計測工学全般。現在は、全社の技術戦略立案、技術管理、新技術探索・インキュベーションを担当。

2 「血圧に関わる疾患の研究最前線」と 「診断・治療に有用な連続測定技術の開発」

講演内容：高血圧や失神等の診断・治療における最新の研究の紹介と医療現場のニーズに対応するための、インピーダンスを用いた新たな長時間連続血圧測定法の開発について紹介しします。

講師紹介：

産業医科大学 医学部 不整脈先端治療学 教授
安部 治彦氏

循環器病学、特に心臓デバイス治療や失神の診断・治療が専門。国内外ガイドラインの班員、外部評価委員。循環器専門医、不整脈専門医、米国心臓病学会上級研究員、日本心臓病学会特別研究員の他、日本不整脈心電学会理事。

株式会社パラマ・テック 代表取締役
深水 哲二氏

計測工学と電子工学を専攻。昭和63年 株式会社パラマ・テックを創業後10年間、動脈音(コロトコフ音)の解析に従事し、現在は血圧計・血流計・心電計等生体情報モニターの開発・設計に従事。

3 「動きながら測定できる小さな血流量センサ」

九州大学大学院 工学研究院 機械工学部門 教授
九州大学バイオメカニクス研究センター センター長
澤田 廉士氏

講演内容：これまでの個別光学部品の組み立てによらないマイクロマシニングという技術を用いて研究開発した、動きながら測定可能な血流量センサとその応用について紹介しします。

講師紹介：Si 結晶欠陥のゲッターリング、赤外光切断によるSi 基板厚さ測定装置、複合基板構成法の研究、光集積センサ、化合物半導体加工、光マイクロ実装、アレイマイクロミラーなどの光マイクロマシンとその応用について研究。

